



成田ロータリークラブ 週報



国際ロータリー2015～16 年度会長 K.R. ラビンドラン

第 2690 回例会 平成 28 年 2 月 5 日(金)

◇ 先月の出席率

・出席奨励 川島 利昭 会員リーダー

先月の出席率は 71.87% でした。1 月の最初は新年例会ということもあり出席が良かったのですが、その後が続きませんでした。下期の始まりとしてはあまり良くないような気がいたします。2 月から気を引き締めて、出席宜しくお願い致します。大木会員、近藤会員、喜久川会員、遠藤会員、以下十数名の方が 100% 出席されております。

◇ 月初めのお願い

・S. A. A. (正) 八田 光雄 会員

抽選による席決めへのご協力により、スムーズな運営ができました。ありがとうございます。

◇ 点 鐘 佐瀬 和年 会長

◇ 国歌斉唱

◇ ロータリーソング 奉仕の理想

◇ 四つのテスト 歌唱

◇ お客様

元米山記念奨学生 シルネン・ブヤンジャルガルさん
千葉ロータリークラブ 中村 正見 様

◇ 誕生日

豊田磐 S 12. 2. 1、小川賢 S 13. 2. 15、渡辺孝 S 15. 2. 21

佐藤英雄 S 18. 2. 12、遠藤英一 S 24. 2. 17

喜久川登 S 26. 2. 20、南日隆男 S 35. 2. 28

小坂裕巳 S 40. 2. 12、音花昭二 S 43. 2. 25

【8 月】諸岡正徳 S 37. 8. 15

【欠席】長原正夫 S 29. 2. 15

◇ 結婚記念日

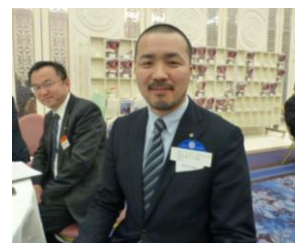
豊田磐 S 41. 2. 3、渡辺孝 S 41. 2. 20

矢島紀昭 S 43. 2. 6、八田光雄 H 22. 2. 7

【先月分】

小泉英夫 S 50. 10. 15、笹子恵一 H 5. 1. 11

【欠席】大澤浩一 S 49. 2. 11



◇ ニコニコボックス



石橋 菊太郎 会員：暮れにインフルエンザの予防注射を受けておりましたが、先週強烈なA型にやられました。先週は例会を休み急いで橘先生のところへ。27日には、39度以上の熱が出てフラフラでしたが、処方して頂いた薬を飲み続け無事に熱も下がりました。うがい手洗いの予防が大事であることを実感いたしました。

1月は職業奉仕月間でした。成田の商人は、お不動様の目の前でまるまる一月商売をさせていただきます。その締めくくりになります2月3日、成田商工会議所女性会の皆さんが小松の女性会を招待し、お不動様の節分絵を見学され、豆まきにも少し参加されました。そして、その帰りには菊屋をご利用いただきました。



大塚 洋 会員：昨年母を亡くし、ロータリーの方にもお心遣いをいただきまして、改めまして御礼申し上げます。3年ほど前に父を亡くし、そのあと2年ほど海外ばかり勤務しておりました。成田に落ち着いた途端、母を見送ることになりました。あまり介護ということもなく家族で静かに見送ることができました。



佐瀬 和年 会員：昨夜が最後のホームミーティングでした。最後に相応しく会長経験者が圧倒的に多く、さながらパスト会長会のようなでした。厳しいご意見、前向きな素晴らしいアドバイスを頂戴したことに感謝申し上げます。その時の会費の中よりニコニコいたします。



川島 利昭 会員：ホテルのご案内をさせていただきます。3月27日の日曜日、15年ぶりに本格的なディナーショーを行う事になりました。石垣島出身の夏川りみさんです。会社の予算外だったのですが、昨日本社からOKが出ました。一人23,000円。癒し系の歌を歌われます。是非、奥様にお話いただきたいと思います。1部5時開始、2部19時45分開始。お時間が合えばお越してください。



角田 幸弘 会員：先週、佐原から銚子まで蒸気機関車が走るというお話をしましたが、先日、見に行ってきました。あいにくの天気でしたが、こんなに地元の人が集まるんだ？と思うくらいの人出で、親子連れなど大勢集まってくれました。警報機が降りるのですが、遠くから汽笛が鳴り、みんなソワソワしながらその瞬間を待ち、警報機が下りる。そんな姿を見ていましたら、素晴らしいイベントだなあと感動いたしました。



吉田 稔 会員：先月17日に香港で開催されました、「国際フォークリフト&パレットビルディング」という、航空貨物業務の技量を競う世界大会に弊社社員がANA成田エアポートサービスのメンバーとして出場し総合優勝を成し遂げました。この大会は、世界の航空会社の代表チームがフォークリフト操作や航空輸送に適したパレットビルディング作業の正確性等について日頃の腕前を競う、職業オリンピック的な大会です。

当該メンバーは、成田空港で日本貨物航空（NCA）の業務に携わっていることからNCAチームとして出場し世界一に輝きました。受賞した社員にとっても、会社にとっても名誉なことであり次の世代に繋げられるように受賞を励みにしていきたいと考えています。

◇ 会長挨拶

佐瀬 和年 会長

千葉ロータリークラブの中村さま、モンゴルからシルネン・ブヤンジャルガルさん、ようこそいらっしゃいました。

今日はブヤンの卓話があります。新モンゴル高専についての理解が一層深まると思います。成田ロータリークラブが行う、国際奉仕の手がかりとして、新モンゴル高専に対する教材供与の支援活動を計画いたしました。先日、神崎誠奉仕プロジェクト委員長をお尋ねし、国際奉仕活動の第一歩として、具体的な仕法を相談すると共に、素晴らしいアドバイスを頂戴してまいりました。

ブヤンから必要な教材のリストが届いていますが、その中から成田ロータリークラブが供給可能な幾つかの製品をリストアップして、その物の内容が新モンゴル高専の求めている物と同様であるかを確認する作業が必要である。

確認方法として、今日ブヤンを「ジョイフル本田」にお連れして商品を見てもらい「この製品を何個、この工具を何個」と言うような具体的な指示をうける事に致しました。さらに、奉仕活動に関するクラブ会員組織図を作り円滑な活動が出来るようになります。

もう一つお知らせする事は、「トプコン」と言う会社がありますが、千葉ロータリークラブの中村様のご手配で、新品の測量機器が新モンゴル高専へ直接贈呈される事になりました。尚、この機械は精度を保つためにメンテナンスが必要であるため、モンゴルにあるトプコンの特約店が定期的に学校へ伺ってメンテナンス作業を行うとの事です。素晴らしい進展に感謝いたします。



◇ 表彰

米山記念奨学 第3回マルチプル
堀口路加 会員



◇ 委員会報告

ロータリー財団・米山記念奨学委員会 遠藤 英一 委員長
神崎 誠 会員



◇ 幹事報告 深堀 伸之 幹事

《回覧》

- ・週報 富里ロータリークラブ
- ・例会変更 八街、成田コスモポリタン、印西
富里ロータリークラブ

《連絡》

- ・行事予定表
- ・2月7日の地区大会ですが、当初バスはコスモと別の予定でしたが、一緒に行くことになりました。京成成田駅コンフォート前、8時集合、8時15分出発となります。
この後、理事会をひばりの間で行います。



◇ 卓話

地区米山記念奨学委員長 堀口 路加 会員

地区米山記念奨学委員会の立場からシルネン・ブヤンジャルガル君を紹介いたします。シルネン君はご承知の通り、モンゴル出身で千葉大学大学院在籍中、2010-11年に米山記念奨学生として成田ロータリークラブが世話クラブとしてお世話した学友です。



千葉大学大学院修士課程（2009-2011年）で工学修士の学位を取得。大学院修了後は、日本国内の企業や研究所でエンジニアとして働きながら、「モンゴルを発展させ、日本のような国にしたい。そのためには技術の実践の場でリーダーになれる人材をたくさん育てることが必要」と考えるようになり、日本の高度経済成長に大きく貢献した高専の必要性をモンゴルの教育関係者に説き、設立を求め続けた結果、同じく米山学友である新モンゴル学園理事長 ジャンチブ・ガルバドラッハ氏（1998-99山形大学大学院／山形北RC）の協力と理解を得ることができ、「新モンゴル工業高専」を設立、初代校長就任されました。2015年3月、モンゴル米山学友会創立一周年記念総会にて最優秀会員として表彰されるなど、シルネン ブヤンジャルガル氏の働きは大変注目されています。

米山記念奨学会では、奨学期間終了後、母国で或いは世界で活躍する学友（元米山奨学生）をロータリー地区に里帰りさせ、旧交を温め、その成長と活躍ぶりをアピールしてもらうための制度として、2008年度にホームカミング制度を始めました。今回、2790地区の地区大会において、地区内の皆様方に米山奨学金事業の意義と素晴らしさ、そしてその成果を体感して頂くために招聘させていただきました。それではシルネン君よろしくお願ひします。

〜〜〜「繋がる夢」〜〜〜

卓話：元米山奨学生

シルネン ブヤンジャルガル
(2790地区 成田 RC)

皆さま、こんにちは。お久しぶりです。いつもお世話になります元米山記念奨学会奨学生のシルネン・ブヤンジャルガルです。学生時代から皆さまに大変お世話になっており、この度は卓話をさせていただくことになりました。このような機会を作って下さった2790地区米山記念奨学会地区委員長、当クラブの会員でいらっしゃる堀口先生をはじめ、皆さまにお礼を申し上げます。



ここに立つと学生時代がよみがえられ、学生の時の緊張が身体中を走りまくっておりますが、皆さま、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、卓話の前に貴クラブが我が校新モンゴル高専にご協力して頂いていることに感謝し感謝状をお送りさせて頂きたく思います。今後ともよろしくお願ひいたします。

さて、本日の卓話ですが、「繋がる夢」と題して話させて頂きます。今日の私が、実は、私の父の夢の続きであります。皆さまロータリアンはポールハリスさまや米山梅吉さまの夢を共有しそれを受け継いでこちらにいらっしゃるのではないかと思います。

私は昭和58年にモンゴルのウバスという県に生まれました。ウバス県はモンゴルの西北部にあり、ロシアの国境に接しています。首都ウランバートルから1300キロも離れているところです。モンゴルの伝統的な家で4兄弟と両親で生活していました。姉が2人と妹が1人います。男の子1人ですが、トラックの運転手である父、経理士の母が家事や家の外の仕事をさせていまして。その度、「今、家事や家の外の仕事をさせているけどこれに将来は感謝するよ！」と言ってくれました。それは本当にその通りであったことを後に分かりました。

17歳の時に大学へ進学するために首都ウランバートルへいき、家を離れます。その時、両親は「君はもう1人前だよ、自分を信じていきな。一つだけ、お願ひがあるんだ。最低一つでもいいから国のために何かをやってほしい。それだけだ。」と言いました。それ以来、



今日まで両親が託してくれたお願ひを胸にやっております。そのお願ひの背景を考えてみますとモンゴルの社会的な問題があります。1990年まで社会主義だったモンゴルが民主化されます。人々は幸せになるとお願ひしていましたが、民主主義というより資本主義に偏り、貧富差が増していきます。資本を入手できるならば、人を騙すなど「何でも」とやるというくらいになってしまいます。それを目の当たり

にした両親は私に前記のお願いをした訳です。

モンゴルの話を少ししますと、モンゴルは人口がおよそ300万人強、国土面積は日本の4倍くらい、鉱物資源・レアメタルが豊富な国です。また、地上資源としては家畜があり、4,500万頭もいます。しかし、資源があるといえ、付加価値をつけず、資源をそのまま、中国やロシアに輸出しています。なので、その2大国の経済が低迷すれば、モンゴルの経済もすぐに打撃を受けます。

さて、託された夢を胸に、私は19歳の時、2003年に運良く国費で日本へ留学します。日本とモンゴルの環境には本当に「天と地」くらいの差がありました。例えば、私はモンゴルにいた時、週に1回シャワーを浴びていたのですが、日本では好きな時に入れます。携帯電話を持ったことがない私は初めて自分の携帯を持てました。まず、環境に恵まれ、日本の国民に大変感謝していました。東京で1年間の日本語の教育を受け、2004年に日本の長崎県佐世保市にある佐世保工業高等専門学校に進みます。全寮制で規則が厳しい環境で工業系の勉学に挑みました。ここでの生活は、今振り返ってみる度に本当に良かったなと思っています。専門的な知識や経験はもちろんですが、人としても少し成長したのではないかと思います。また、同級生を始め、仲間もできました。本当に良かったですね。工業高等専門学校は日本独自の教育制度で今から約50年前に、高度成長期の前1962年にできた教育制度です。通称は「高専」と言います。中卒、つまり、15歳の子供が入学し5年間実践的な技術教育を受け、20歳で社会人になる技術を育成する学校です。1年生から技術教育を受け始め、企業と密接に協力していくため、卒業生の就職率は100%を誇る特徴を持っています。日本国内ではあまり知られていませんが、近年、中堅的な技術者を育成教育制度として諸外国から注目を集めています。

2007年に佐世保高専を卒業して就職せず、最先端な研究を行いたいため、千葉大学へ進みました。高専時代も大学時代も両親に託された夢は忘れることなく色々な人に自分の夢を話して意見交換したりしていました。千葉大学大学院の時、国費の奨学金が終了し私費留学生になっていました。その時、また、運良く米山記念奨学金に出会い、そして、素晴らしいロータリアンの皆さまと知り合いになります。そして、当クラブに1年間お世話になりました。カウンセラーの日暮さんや故平山金吾さんをはじめとするロータリアンの皆さまに大変刺激を受けました。「みんなのためになるか」という4つのテストの一つ、奨

学金というお金を外国人という私にくださること、なんと素晴らしい方々、なんと寛容な方々なのかと感動しました。特に、故平山金吾さんには奨学金期間が満了した後もお付き合いさせて頂き、教育や国のためには何が必要かということで色々な知恵や助言を頂きました。メールでもやり取りをさせて頂いていて、あるメールの一部にこんなことを書いて下さいました。”...実は日本でも1930年

恩師との出会い



“...実は日本でも1930年代までは、子供を教育するよりも、畑で働かせ、子守りさせる方が良いと思う親が多かったのです。人は教育される初めて人間になる。教育される前は単なる生き物です。言葉を学び、理科、数学を学び、哲学を学び人間になるのです。あなたはそこに気が付き、後輩を教育する気になったのです...”

故、平山金吾様

代までは、子供を教育するよりも、畑で働かせ、子守りをさせる方が良いと思う親が多かったのです。人は教育されて初めて人間になる。教育される前は単なる生き物です。言葉を学び、理科、数学を学び、哲学を学び人間になるのです。あなたはそこに気が付き、後輩を教育する気になったのです...” 。このように皆さまに刺激を受け、やはり「国のために何かやらねば」という思いが強まります。

色々考えて、多くの方々に聞いたり、意見交換をしたりした結果、やはりモンゴルが発展するために資源に付加価値をつけるべきだと考え、そしてその付加価値をつけるために何が必要か考えれば、やはり、人材でした。具体的には「嘘をつかない技術者」こそがモンゴルで産業を興し、資源に付加価値をつけられると思いました。それでそんな人材を育成できる制度として、私が卒業した高専だということに行き着きます。

モンゴル国が発展すれば、モンゴルのためだけではなく、それ以外の国々、日本のためにもなると思いますしなるべきだと思います。

高専をつくるべきだという考えをもち、色々な方に会い、考えをぶつけていきます。その中で理解者に出会います。その人は、なんと元米山奨学生のモンゴル人でした。ジャンチブ氏は30歳で娘4人と奥さんを連れて山形大学院に留学し苦学されていました。そんな時、1998年に米山記念奨学金に救われ、人生が変わった人です。多いに喜んでロータリアンの皆さまに刺激を受けた彼は一つ約束したと言います。それは、モンゴル初の日本式の高校をつくることでした。彼が2000年につくった高校がモンゴルで進学高として大変有名な学校になっており、300人を超える卒業生が日本への留学を果たしています。そんな彼に私が自分の夢や考えをぶつけた時、「今度は、あなたの番だ！私もあなたと同じように米山奨学生でしたし、色々な方に協力して頂いて今の自分がある。だから、あなたの夢の実現に協力します。」とってくれました。2014年に校舎をつくってくれ、その9月に日本の高専をモデルにした新モンゴル工業高等専門学校が開校します。彼は校舎だけは立派につくってくれましたが、その中身をつくっていくのが私の仕事です。日本の高専をモデルにしているため、そのカリキュラムを基に教育を行いますが、教室の机、椅子から実験室の機材など何かから何まで今後整えていかなければなりません。また、高専ならではの特色である、企業さまとも密接な協力関係をつくりあげていく必要があります。すでに国内企業さまとは協力協定を結び、昨年6月に15歳の学生20人に体験型インターンシップを一週間から10日間やらせて頂きました。これも今後続けてやっていく



2015年9月
210名の学生



と思っています。我が高専では1年生から日本語教育を行っていますので日系企業とも協力を結んでいきたいと思っています。そのための活動も国内や日本でやっております。皆さま、前向きに考えてくださっています。最終的に我が校の卒業生が日本の技術者と一緒にモンゴルの資源に付加価値をつけていけたら、何より最高ですね。

さて、最後にロータリアンの皆さまへ、米山記念奨学金は色々な学生の人生を良い方向に変えています。そして、その奨学生がさらに次の人や人生を良い方向に誘導していきます。

言えば、皆さまが撒いた種が成長し、そして次の種をつくっていています。皆さま、どうか米山記念奨学会を引き続きよろしく願いいたします。そして、私は自分の夢を実現し、新モンゴル高専を立派な学校に成長させ、皆さまにも是非みていただきたく思いますのでこれからもどうぞよろしく願いいたします。本日はどうもありがとうございました。



◇ 点 鐘 佐瀬 和年 会長

第8回理事・役員会

1. 2、3月の例会及び事業、行事計画の確認

2月の予定			
5日	(金)	通常例会	第8回理事・役員会 モンゴルより来客
12日	(金)	振替休日	2月7日(日)地区大会へ振替
19日	(金)	通常例会	卓話 テラ・ルネッサンス 代表 鬼丸氏
26日	(金)	新酒を飲む会	長命泉 ひかたや第二支店 点鐘 18:30
3月の予定			
4日	(金)	通常例会	第9回理事・役員会
11日	(金)	通常例会	研修
18日	(金)	通常例会	会報担当
25日	(金)	月桂樹例会	米屋観光センター

2. 米山記念奨学生世話クラブとカウンセラー引き受けについて

カウンセラーは浅野正博会員へ依頼

承認

3. 月桂樹例会(3/25)について

来賓 吉田副市长(お礼は5,000円程度で米屋さんへ依頼)

承認

出席表

会員数	出席義務者数	出席数	欠席数	出席率	前回補正
63	62	43	19	69.35%	59.68%

MAKE UP CARD

氏 名	月 日	クラブ名
佐瀬 和年、深堀 伸之、設楽 正行、喜久川 登、橘 昌孝 小川 賢、成田 温、石川 憲弘、遠藤 英一、堀口 路加 各会員	1月22日	長期計画(CLP)委員会
佐藤 英雄、設楽 正行、菊地 貴 各会員	1月29日	奉仕プロジェクト委員会
堀口 路加 会員	2月4日	地区米山記念奨学委員会、シルネン・ブヤンジャルガル君地区歓迎会
佐瀬 和年、深堀 伸之、石川 憲弘、成田 温 後藤 敦、平山 秀樹、吉田 稔、神崎 誠、遠藤 英一 佐藤 英雄 各会員	2月5日	第8回理事・役員会

事務局 〒286-0127 成田市小菅 700
成田ビューホテル内
電話/FAX 0476-33-8786

例会場 成田ビューホテル
電話 0476-32-1111
例会日 金曜日 12:30
例会出欠連絡先(直通)
電話 0476-32-1192 FAX 0476-32-1078